

国際海運・国際港湾の動向に関する研究

研究分野: 商学、応用経済学

キーワード: コンテナ、水平統合、運賃同盟(カルテル)、港湾ガバナンス、日米海運史

貢献できるSDGsの区分:



経営学部 国際経営学科 教授 山本 裕

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/yamamoto>

研究概要

- ①海上運賃に影響を及ぼす需給以外のファクターを調べています。
- ②とくに、アライアンス(協調配船)や企業統合の影響を注視しています。
- ③海運史の研究も進めています。戦後の英国海運についての新しい論文(著書)は2022年6月末に出版予定です。
- ④日米海運史の邦訳は2023年度中に出版予定です。
- ⑤実務経験から、佐世保港の委員長、国の戦略港湾の評価委員、地方港の振興会議の委員などを務め、適宜知見を提供しています。

産学連携の可能性(アピールポイント)

実務経験から、佐世保港の委員長、国の戦略港湾の評価委員、地方港の振興会議の委員などを務め、適宜知見を提供しています。

外部との連携実績等

民間企業へは具体的な配船、航路について、行政には、おもに、国際港湾の航路振興について助言しています。地元の造船業には将来の船種など、金融機関にはシップファイナンスのための国際海運の市場や市況についてアドバイスしています。